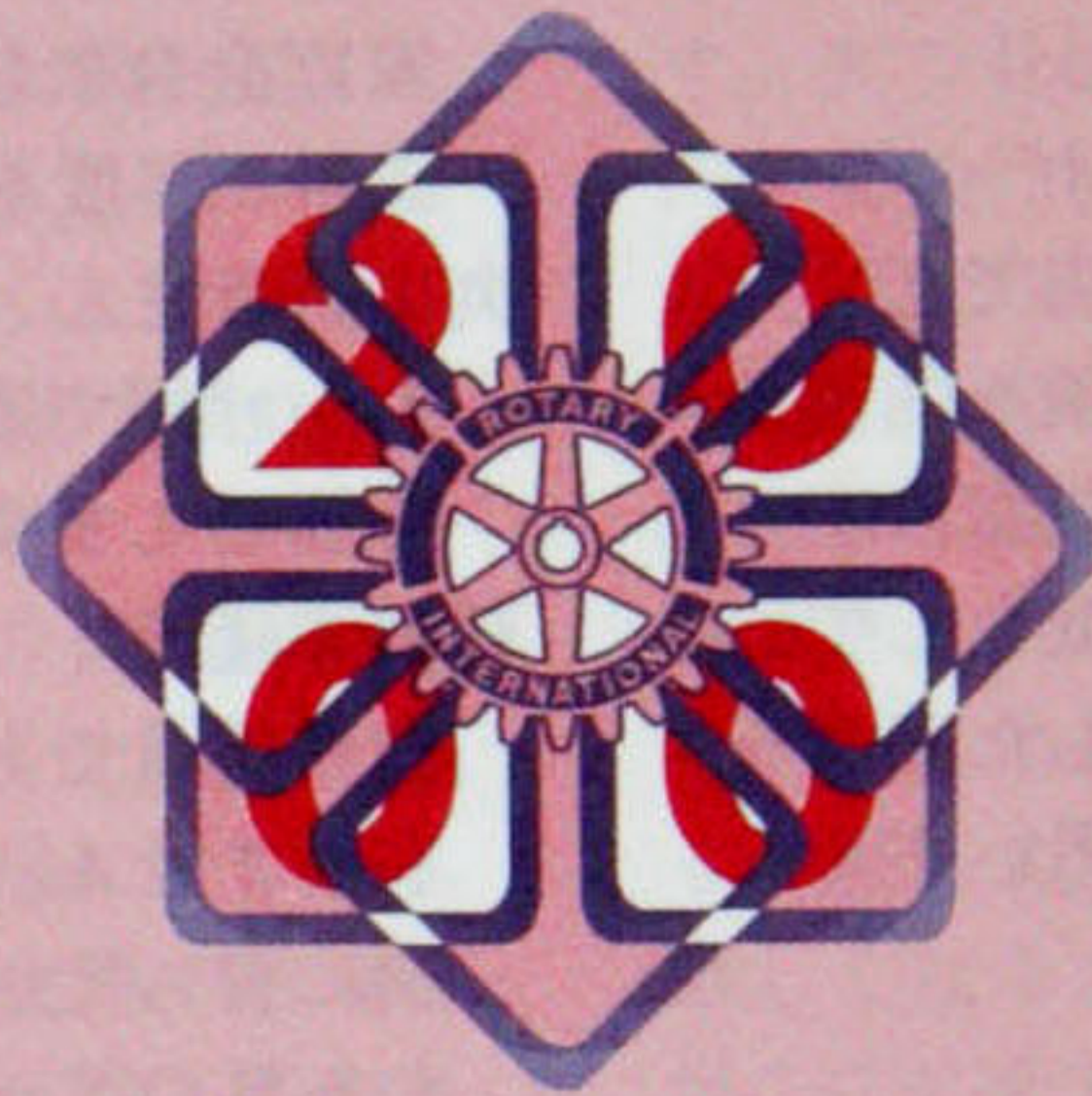


ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:
活動は—堅実、
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——高木 貞一郎
会長——長谷川 有美
会長エレクト——斎藤 弘文
副会長——五十嵐 昭一
幹事——藤田 紘一
副幹事——丸山 行彦
S A A——五十嵐 寿一
副 S A A——荻根沢 隆雄

例会日——毎週水曜日 12:30~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

| | |
|---------|----------|
| 本日出席会員数 | 74名中 58名 |
| 先々週出席率 | 86.11% |

ヴィジター

三条南より

相田明雄さん、馬場一敏さん



先週のメイクアップ

6/2 吉田へ

渡辺喜彦さん

6/5 三条南へ

細井増雄さん、古澤富雄さん

6/6 三条北へ

熊倉昌平さん、渋谷健一さん

会長挨拶

五十嵐(昭)副会長



総選挙が3年8ヶ月ぶりに行われます。あまり争点の無い選挙ではないかと言われておりますが一番の景気回復、財政再建と言われております。これは一緒のようで相反している様にも見えます。国債を発行して景気回復に資金を投入する。そして回復したら返済をすればどうだろうか、と言われておりますが、現在税収の40%が利払いに回されております。財政を健全化しないと大変なことになるのではと思っておりますが、財政が破綻しては又大変なことではどちらが良いか否かの判断は難しいのではないのでしょうか。前向きに少しでも良くなる様にと願っております。

過日、中国の大連に行って来ました。目的は工

場と量販店の見学であります。大連は中国では一番キレイな街でして、清潔な感じのする所でした。工場では18~20才位の女性が多くて、月収は大体日本円で1万円位だそうです。3~5ヶ月の短い雇用契約でそれが切れたら又更新をして勤務する様な形態でして、若くて安い労働力がメリットのことです。

量販店の方では外資系の2つの店がオープンしていました。フランスとアメリカ系の店でどちらも混雑していました。品揃えは殆ど中国々内製品で、輸入品は置いていないようです。豊富に安く供給している様ですので日本企業は苦戦をしているのではないのでしょうか。向うに適合した商品を供給して行かなければならないかなと思います。

幹事報告

藤田紘一幹事

◎佐渡RCより

創立30周年記念式典参加お礼状がとどいております。

◎三条市ふるさと運動推進協議会より

平成12年度定時総会開催のご案内がとどいております。

とき 6月21日(水) PM6:00~

ところ 二洲楼

◎吉田RCより

第4分区新旧クラブ会長、幹事会開催のご案内がとどいております。

とき 6月18日(日) PM5:00~

ところ 吉田町「橋畔楼」

ニコニコBOX



藤田紘一さん

家庭会合に参加させていただきました。

長谷川年度もいよいよ終りが近づいてきました。

丸山行彦さん

おかげ様で家庭会合無事終了しました。ご協力感謝致します。

荻根澤隆雄

出席委員でもあります私が欠席ばかりで申し訳有りません。出席賞でお配りしました花々が順調に育っている事と思います。見事に花が咲いたらBOXへ

五十嵐 力さん

先日昭和30年度の高校時代の同級会を開催、友好を温めて来た。13人参加。

松縄 弘さん

小宮さんの真面目?な話をはじめて伺います。

小柳直人さん

都合により早退させていただきます。

渡辺勝利さん

早退させて頂きすみません。

小越憲泰さん

早退します。

6月7日分 ￥10,000

今年度累計 ￥637,000

卓 話

小宮正敏会員



景気は持ち直しておることですが、1昨年小渕内閣の発足からその景気対策の一つは金利を安くして活発化を図る、二つ目は減税をして良くしよう、三つ目は公共事業を大幅にやっ

て立ち直らせるということです。この三つが小渕政権でなりふり構わずやって来たのが実態であります。ようやく上向いて底を打ったとの見通しが出て来る様になりました。その中で立役者の第一は公共投資であります。国債を大量に発行して公共投資を盛んにやって、それから夏になって住宅ローン減税をやりました。利息分に付いて税額から控除するやり方として、住宅投資が活発になりました。先行き金利が高くなる見通しからマンション、一戸建住宅が盛んになって景気引上げの要因になりました。ただリストラも進みまして雇用が云々されて、借金をするのにも問題があるのではと住宅の需要が一気に落込みました。それに代わるものとして出て来たのがアジアの景気が思ったよりも早く立ち直ったことと情報通信産業が将来性が有るといってこの分野に活気が付いて来ました。それが現在に至っている訳です。次に政府が望んでいることは、民間の設備投資、個人消費が伸びて来ると本格的な好景気になると思います。リストラ、合理化の成果で各企業で利益が上って来ていて設備投資に火が付いたと思います。個人消費に付いてはパソコン等一部「買い」が入っている様ですが、その他は低迷している様です。全体としては未だマイナスであります。

地場ではどうかと言いますと、三条燕地区では未だ明るさが見えない様です。産業構造が個人消費に直結した商品の多いのが上げられます。鍋、釜に代表される様に個人に直結した産業が多いのではないのでしょうか。

金融機関の問題点ですが一つは都銀の競争が激しくなって来ました。融資の伸びが2.6%増えています。彼等が中小企業取引の拡大をしている為、我々と競争になっております。二つ目はメガバンクであります。都市銀行が盛んに系列化をしております。(例みずほグループ他)我々がメインバンクではなくなる恐れが多分に出て来ました。三つ目は他産業からの銀行業務乗入れです。(例イトーヨーカ堂)イトーヨーカ堂と言えばセブンイレブンですが、店舗数が桁違いに多いのでキメ

細かいサービスが売り物であります。利用度が高いものになると思います。四つ目は個人預金が他へシフトされるだろうということです。金利が小さいので投資信託、株式等へかなりシフトして行くのではないのでしょうか。手前共も信託の取扱いを増やして手数料収入の増額に力を入れて行きます。五つ目は郵便貯金の満期金が今年、来年で県内で2兆円、全国では110兆円の満期日が来ます。県内では77.7%が郵便局へ復元している様ですが信託、株式への流出が懸念されましたけれども…。六つ目は信金、信組の監査が県から金融監督庁に移行されました。緩やかな基準であったものが銀行と同じ物差しで見られるので、ガードが堅くなると思います。不良債権等の捉え方、及び査定が厳しくなるとおられます。七つ目は中央銀行問題がここに来て話題になっております。北越、大光、東光等受け皿の問題であります。取引先の引取り条件等の交渉が始まって来るとお思います。



